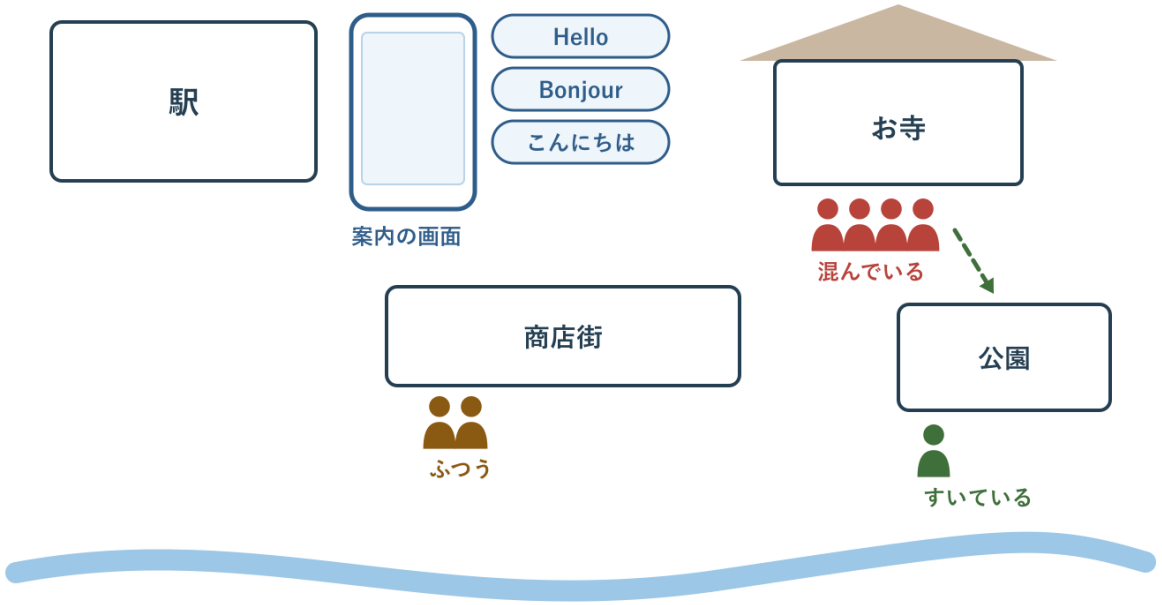
観光とAI（ことばの案内と混み具合の見える化）

観光地では、AIなどをどのように使って、旅行者をむかえているのだろう

観光の町（架空）



人の記号の数：混み具合（多いほど混んでいる）

観光とAIの取り組み（例）

1 ことばに合わせた案内

- 旅行者のことばに合わせて、案内やお知らせをほかの言語に直す
- ことばで聞かれたことに、夜でも答える

2 混み具合の見える化

- 人の流れのデータから、混んでいる場所や時間を地図に表す
- すいている場所や回り方をすすめて、人が分かれるようにする

よいこと

- 外国から来た人も、安心して楽しめる
- 混雑で、地いきの人のくらしがこまることを減らす
- 案内する人の手間が減る

気をつけること

- 直したことばがまちがうことがある。大事な案内は、人が確かめる
- 人の位置のデータは、だれのものか分からない形にして使う

※ 模式図。町は架空。取り組みは国の資料が示す例で、地いきによってちがう。